

貴方だけが苦しいのではないよ！ 我慢して働けば何時かは報われるよ！

でも、本物の政治家が居ないのは寂しいね、  
国民は優秀で一流！ 政治は三流だからね！

体力補充を兼ね、早朝 6 時から事務所までの 4 km を歩く事にしている。  
通りの両側はビル街だ。コロナ禍以降変わりだした事がある。

- ◎建物や通りの清掃員に女性が増えた事、男性と半々ほどだ。
- ◎大半が 60 歳以上で高齢者が目立つ。
- ◎最近新人が目立ち、仕事ぶりが非常に丁寧だ。

顔見知りになり、“おはよう！” の挨拶に、皆さん元気よく答えてくれる。

「働ける間は働き続けたい」日本人特有の律義さが態度にあらわれている。

一方、コロナ禍以降、早朝の通りには空き缶、カップ麺の容器、ビニール、紙類と、“ポイ捨てのゴミ”が増えた。人心が荒んできているのではなかろうか？

今回の Go-To キャンペーンは、思慮の無い政治の象徴である。政府が、国民の緊張感を無くし油断させた罪は非常に大きい。肝心の国会議員が、緊張感を無くし、最とも緩んでいるのだ。

国民に「もう大丈夫だから遊びに行け」と、大丈夫の根拠も無く宣伝した。  
旅行、飲食業関係だけで経済は成り立っているわけではない。

Go、To 開始が 2 週間遅れていたら、国民の緊張があと 2 週間継続していたら、様子は大きく変わっていただろう。

緩み切った国会議員は、庶民の感覚と違う。庶民の苦しみなど解らないのだ。  
多くの議員が、資金集めパ〜ティを、無神経に実行している。

殆どが、一人 2 万円だ。私には 11 人から振込用紙が送られてきた。君らの政治活動に「何一つ期待していない」だから、パ〜ティ等に行く気は無い。

失業者、自殺者、犯罪と急増している。そういう時期に、君たちはよくも一流ホテルでパ〜ティなど開く度胸があるね？ この事にマスコミに登場する有識者は一言も触れない。何故かと言えば、パ〜ティにゲストと呼ばれ、報酬を得ているからだよ。国民は、こういう輩に馬鹿にされているんだよ。

二階幹事長、菅首相！ 馬鹿議員共に「自粛しよう」と、何故言わぬ！  
土曜か、日曜終日、永田町周辺を議員も、秘書も総出で「清掃活動してみたら」  
どうだい！ほうきの使い方も知らないだろうね？

ご高齢の方が、一生懸命働いている。一方、祖父、両親、子供の三代にわたり生活保護の需給を受けている例も多いようだ。全部が全部、こうした支給を不正とは言わぬが、公明党辺りの政策は間違っていないか？